

令和 7 年度

# 運営に関する計画

令和 7 年 5 月 24 日報告

大阪市立長谷川小学校

(様式 1)

大阪市立長谷川小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

本校は大阪市こども相談センター（中央・南部・北部）から措置され、児童心理治療施設である大阪市立長谷川羽曳野学園に入園している児童のみが通学している学校である。児童は全員、これまで厳しい家庭状況にあり、その成育歴から家庭・学校教育が十分になされておらず、環境を起因とする社会的・知的な発達に遅滞傾向にある。また、情緒的にも不安定な児童がほとんどである。本校への転入までに家庭・学校での養育・学習・運動の機会が十分に得られておらず、このため、学力的・体力的に極めて低位、厳しい状況にある。さらには、道徳的判断力や社会性・協調性などの面での課題も顕著である。

このような現状を踏まえつつ、ソーシャルボンドの育成を軸に将来の自立に向け、自尊感情の醸成、基礎的・基本的学力の定着とともに基本的生活習慣の育成と自ら学ぶ意欲の育成に力を入れることで、たくましく生き抜く子として育つよう、長谷川羽曳野学園と緊密な情報共有・指導連携を進めながら、でき得る限りのきめ細かな指導を続けていく必要がある。そのためには職員のバーンアウトゼロも目標とする。

### 中期目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

○令和7年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を90%以上にする。

#### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査における各教科の正答数が全国平均の7割に満たない児童の割合を0%にする。

○令和4～7年度の大阪市小学校学力経年調査における標準化得点を、同一母集団で比較し、前年度の標準化得点よりいずれも向上させる。

#### 【学びを支える教育環境の充実】

○令和7年度の全国学力・学習状況調査の「5年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を、80%以上にする。

○令和7年度の小学校学力経年調査・校内調査の「読書は好きですか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、80%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

#### 【安全・安心な教育の推進】

○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を91%以上にする。

○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。

本校の独自目標

### 3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

## 大阪市立長谷川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「そう思う」と回答する児童の割合を91%以上にする。</p> <p>○ 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>本校の独自目標</p> <p>○ 児童全体の指導方針としてPBS（ポジティブ行動支援）を取り入れ、肯定的行動のあふれる学校を創造する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【1-(1)、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>児童理解、学力向上研修会を実施し、児童の理解に努める。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・児童理解、学力向上研修会を年2回実施する。</p>	
<p>取組内容②【1-(1)、安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>安全教育指導や避難訓練を計画・実施する。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・計画に基づいて、年3回実践する。</p>	
<p>取組内容③【1-(2)、豊かな心の育成】</p> <p>実施計画に基づき、楽しい学校生活を送ることができるように、児童会活動を充実させる。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・計画を児童とともに考え、実施後の反省も行う。</p>	
<p>取組内容④【1-(2)、豊かな心の育成】</p> <p>時間を有意義に使う。</p> <hr/> <p>指標</p> <p>・時間を守る。計画的に時間を使う。</p>	
<p>取組内容⑤【1-(2)、豊かな心の育成】</p> <p>自分や他人を大切にする（適切な言葉づかい）。トラブルが起きた際は、個に応じたきめ細かな指導に努める。PBS（ポジティブ行動支援）により、肯定的な行動をしやすい雰囲気を作る。</p> <hr/> <p>指標</p>	

<ul style="list-style-type: none"> <li>・他人の良いところを見つける機会を持つ（月２回位）。</li> <li>・ライフスキル教育を実施する。</li> <li>・毎月、生活指導研究会を実施し、共通理解をする。</li> </ul>	
<p>取組内容⑥【１-（２）、豊かな心の育成】</p> <p>自然や人とのふれあい体験や社会とのつながり体験などを工夫して実施する。</p> <p>音楽・劇鑑賞会などを行うことにより自ら表現する力をつける。</p> <p>言語活動を取り入れた授業づくりをすることで、児童の表現力を養う。</p>	
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・栽培計画を立て、計画的に実施する。玉手小学校との交流を計画実施する。</li> <li>・音楽・劇鑑賞会など鑑賞したことを参考にし、スクールフェスティバルの出し物を工夫する。</li> </ul>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

## 大阪市立長谷川小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> ○ 小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を76%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における、国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.01ポイント向上させる。 ○ 小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して肯定的に回答する児童の割合を91%以上にする。 ○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を81%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【2-(4)、誰一人取り残さない学力の向上】 少数の学習形態を生かし個に応じた指導を実施し、学習効率を高める。 ----- 指標 ・現在の学力から、指導する内容を決め、理解度をテスト等で把握する。	
取組内容②【2-(4)、誰一人取り残さない学力の向上】 年間計画に沿って教科・領域・道徳の研究授業、または、ライフスキル教育の授業公開を行い、指導力の向上に取り組む。 ----- 指標 ・言語活動の充実を図るために、教員全員が、研究授業または、ライフスキル教育の授業に取り組む。	
取組内容③【2-(5)、健やかな体の育成】 学期ごとの保健週間や姿勢検査を実施、保健指導を通して、手洗い、うがい、歯みがき、正しい姿勢が身につくように指導する。 ----- 指標 ・健康的な生活習慣が身につくように指導した後がんばりカードで評価する。	
取組内容④【2-(5)、健やかな体の育成】 基礎体力の向上を目指し、主体的に運動に取り組む児童を育てる。 ----- 指標 ・がんばりカードを作成し、活用する。 ・毎時間の準備運動に、バランス感覚や柔軟性を養う運動を取り入れる。	

<p>取組内容⑤【2-(5)、健やかな体の育成】</p> <p>給食指導の中で、季節の行事食等を通して、「食」への関心を高め、知識向上にむけて取り組む。</p>	
<p>指標</p> <p>・給食指導、「食」に関する指導を計画的に実践する。</p>	
<p>取組内容⑥【2-(5)、健やかな体の育成】</p> <p>子どもの実態に合わせ、性に関する指導を行う。</p>	
<p>指標</p> <p>・性に関する指導の取り組みを、実施計画どおりに実践する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

## 大阪市立長谷川小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> ○ 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 75%以上にする〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕。 ○ 第 2 期「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 1 を満たす教職員の割合を 80%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【3-(6)、教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】 ICT・デジタル教材を活用した授業づくり ----- 指標 ・ ICT・デジタル教材を活用した教科学習を、週 5 時間実施する。	
取組内容②【3-(7)、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 長時間勤務の解消 ----- 指標 ・ 長時間勤務の解消に向けた意識醸成を図るため、退勤目標時刻を設定するとともに、時間外勤務時間の状況について、毎月教職員に個別に通知する。	
取組内容③【3-(7)、人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 「学校園における働き方改革推進プラン」(令和元年 12 月策定)に示されている取組を実践していく。 ----- 指標 ・ 教育委員会から示される他校園における働き方改革の好事例を教職員に示し、本校の実情に合わせた取組を実践し、働き方改革を推進していく。	
取組内容④【3-(8)、生涯学習の支援】 各教科等における言語活動の充実を図りながら、図書室を効果的に利用する。 ----- 指標 ・ 外部から講師を招き、読み聞かせを実施する (学期 2 回)。学習したことを、発表できる場を全体で作る (学期に 2 回)。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点